



2018年5月24日

株式会社マイナビとの地域活性化包括連携協定の締結について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2018年5月24日（木）、株式会社マイナビ（代表取締役社長 中川 信行、以下「マイナビ」）と地域活性化に関する包括連携協定を締結しました。

今回の協定締結は、当行が自治体と連携して取り組んでいる千葉県長生郡長南町の小学校跡地活用において、マイナビを誘致したことがきっかけとなっています。今年7月には同社が再生を手掛けた長南町旧西小学校の「仲間と泊まる学校 ちょうなん西小」*が開業し、当行も集客や情報発信などの面でこの事業に協力してまいります。

本協定は、当行とマイナビが緊密に連携して、地域の課題への適切な対応と活力ある個性豊かな地域社会の形成に協働して取り組むことを目的としており、今後両者は、まちづくりや移住定住の促進、雇用の創出、農業・観光の振興、空き公共施設活用等の分野で自治体が行う地方創生の施策に積極的に協力してまいります。

【連携項目】

- (1) まちづくり・移住定住促進・雇用創出に関すること
- (2) 農業の振興に関すること
- (3) 観光の振興に関すること
- (4) 空き公共施設等の活用に関すること
- (5) その他地域資源の活用に関すること

※おもに学生のサークル合宿や企業研修などの利用を想定した団体客向け宿泊事業。他にも農業体験や地元食材を活用したカフェなどを運営する。利用者はグラウンドや体育館も含め学校施設全体を貸し切り、学校で遊ぶ・学ぶ・泊まるというノスタルジックな体験が味わえる。

以 上